

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	住之江区
学校名	南港光小学校
学校長名	寺村 真二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一侧面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・南港光小学校では、第6学年 29名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校は少人数の学校なので一人の正解・不正解によって数値が大きく変化する。今年度の国語科の平均正答率は、全国平均より7.8%低かった。領域別でみると、どの領域でも全国平均より低かった。。算数科の平均正答率は、大阪市平均や全国平均より1%低かった。領域別でみると、「A数と計算」「B図形」では、全国平均を上回ることができた。理科の平均正答率は、大阪府平均と同等で、全国平均より2.1%低かった。領域別でみると、「地球を柱とする領域」（地面への水のしみこみ方や、水の流れ方にに関する問題）では、全国平均を上回ることができた。平均無答率は、どの教科も全国平均より低く、粘り強く取り組み、学習して得た力をもとに解答しようと試みていたことが伺える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「言葉の特徴や使い方に関する事項」のひらがなを漢字に直す問題では、全国平均に迫ることができた。「書くこと」の領域では、段落相互の関係に注意して文章の構成について考えることに課題があった。

〔算数〕「数と計算」の領域で平均を上回った。一昨年度まで全校で算数科の授業研究を行い、児童が学びを深め、基礎となる計算力をつけるための授業ができた成果であると考えられる。「図形」の領域でも全国平均を上回った。基礎的な学習に加えて、立体模型に直接触れたり、ICT機器を使ったりして図形に対する理解を深めることができたからだと考える。

〔理科〕記述式の問題において、全国平均を上回ることができた。実験・観察に際して、予想を立てたり、結果の考察をしたりする時間を確保し、記述する学習を進めてきた成果だと考える。

質問調査より

学校生活全般での指導に加え、道徳の授業も活用した児童の心を育てる取り組みを進めてきた結果、「自分には良いところがあると思いますか。」という設問に対する肯定的な回答をする児童は93.6%だった。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」は最も肯定的な回答をしたのが大阪市・全国の平均を上回る87.1%で、校内的にも昨年度より向上した。否定的な回答をする児童はいなかった。

学級担任をはじめとして教職員が児童の学習支援を熱心に取り組んできた結果、「授業やテストについて、わからないところがあれば、わかるまで教えてくれる」の肯定的回答が90%を超えた。

今後の取組(アクションプラン)

- ・一人一台端末の積極的活用により、個に応じたペースでの反復学習などを行う。
- ・協同的な学びを取り入れた学習を今後も継続して取り組むことで、話す力や聞く力を育て、学びあうことで学力を高められるようにする。
- ・今後も学力向上支援チーム事業を活用し、校内研究授業や公開授業、研修会を行い、教員の指導力の向上を図っていく。
- ・学校図書館を積極的に活用し、読む力や調べる力、書く力を高められるようにする。

【 全体の概要 】

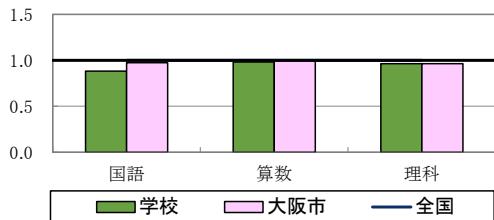
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	59	57	55
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

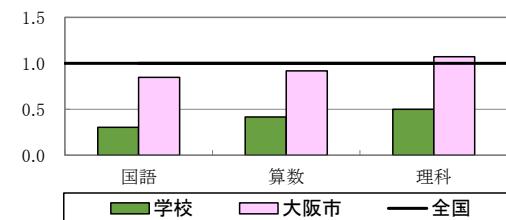
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.0	1.5	1.4
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



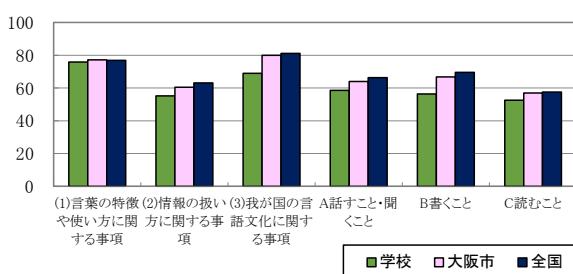
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	75.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	55.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	69.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	58.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	56.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	52.6	56.9	57.5

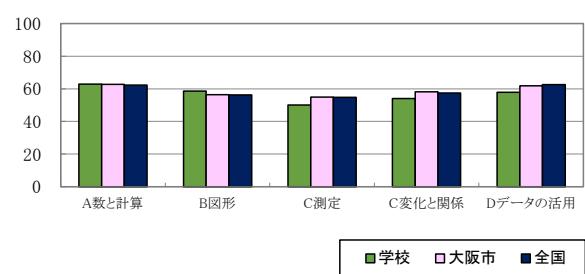
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.9	62.7	62.3
B 図形	4	58.6	56.4	56.2
C 測定	2	50.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	54.0	58.2	57.5
D データの活用	5	57.9	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

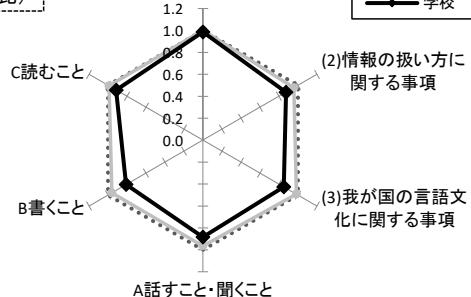


国語
内容別正答率
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項

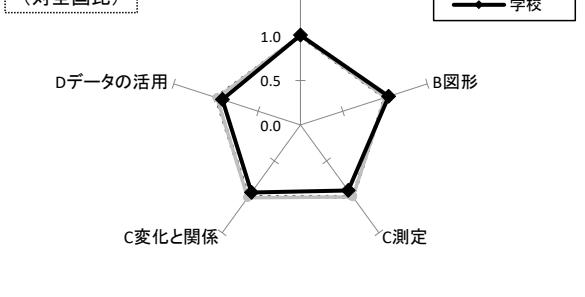
算数
領域別正答率
(対全国比)

A数と計算
B図形
C測定
C変化と関係
Dデータの活用



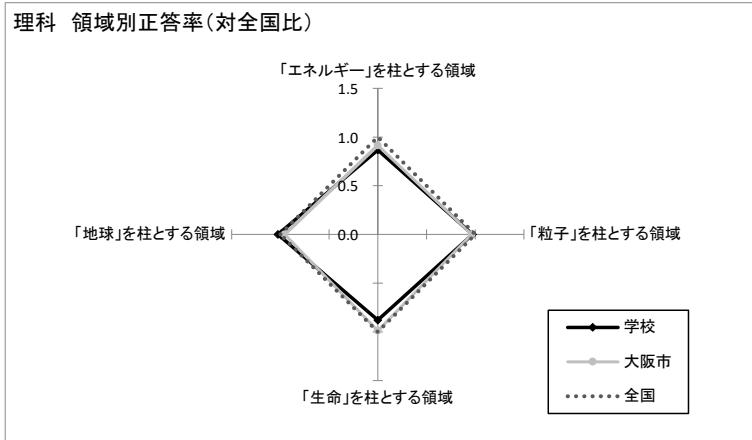
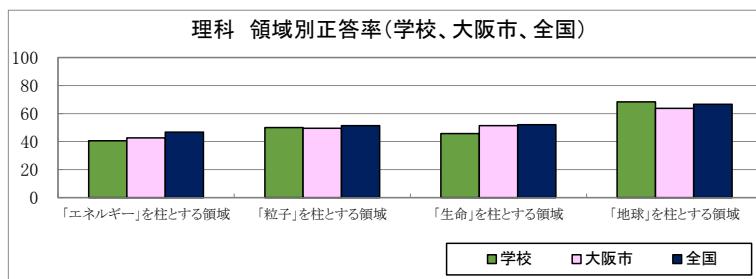
算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算
B図形
C測定
C変化と関係
Dデータの活用



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	40.5	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	50.0	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	45.7	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	68.4	63.8
				66.7



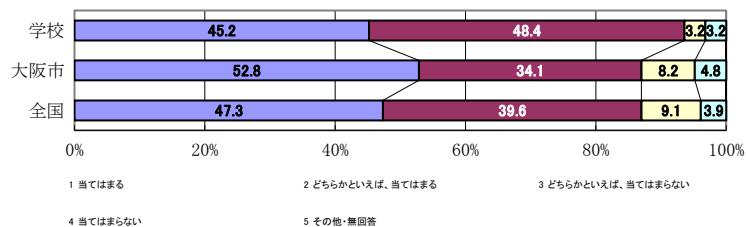
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

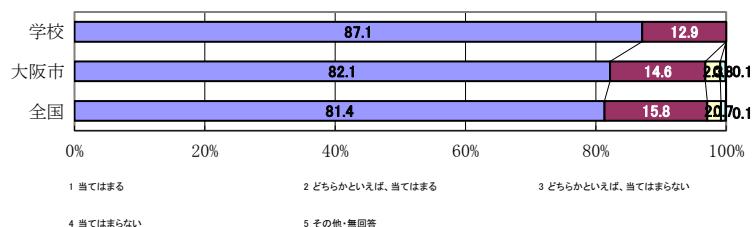
5

自分には、よいところがあると思いますか



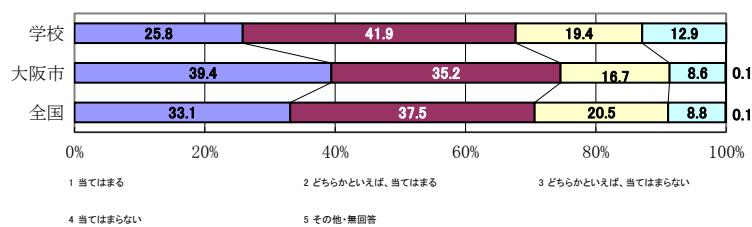
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



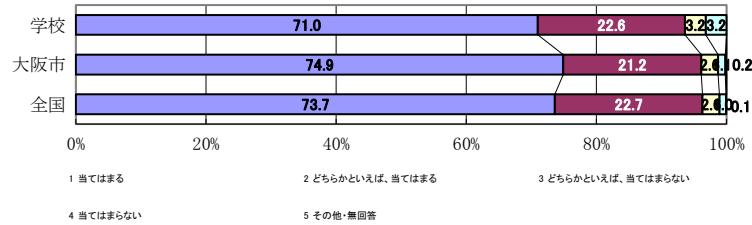
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



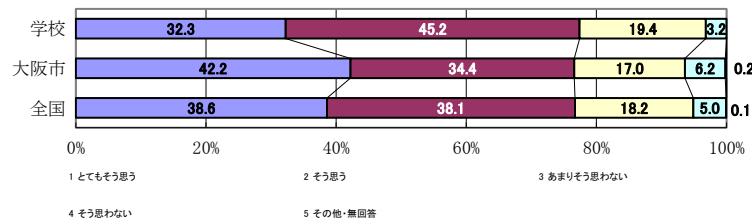
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



75

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができるとと思いますか



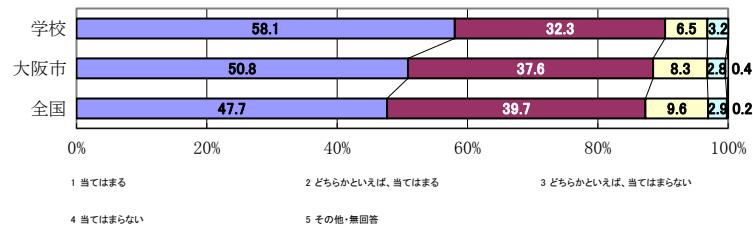
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

38

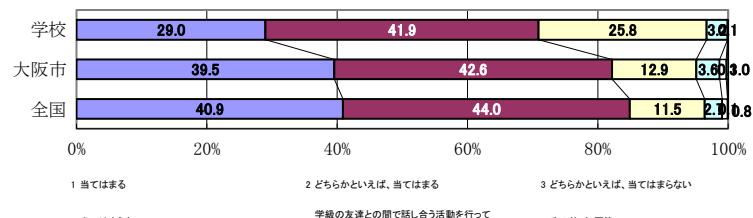
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



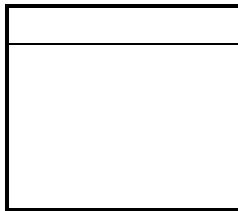
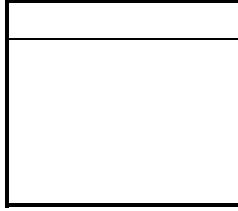
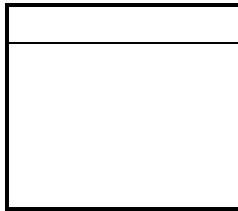
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 その他・無回答

35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない 6 その他・無回答



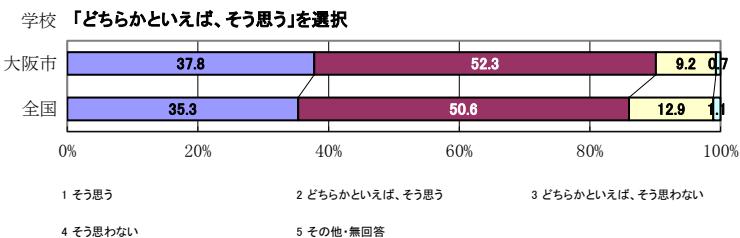
学校質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

質問番号
質問事項

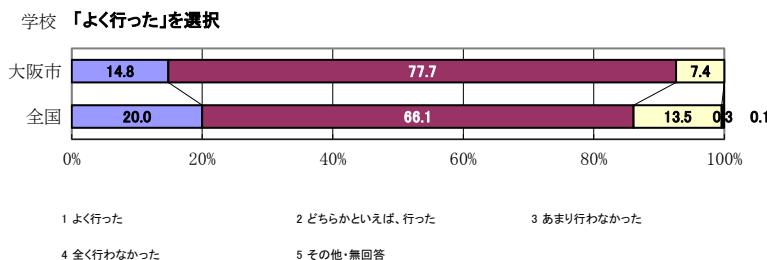
8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



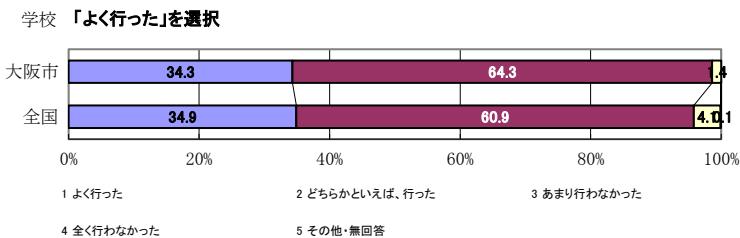
9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせた指導をしましたか



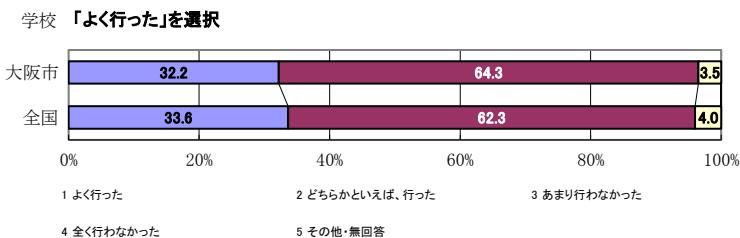
43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか



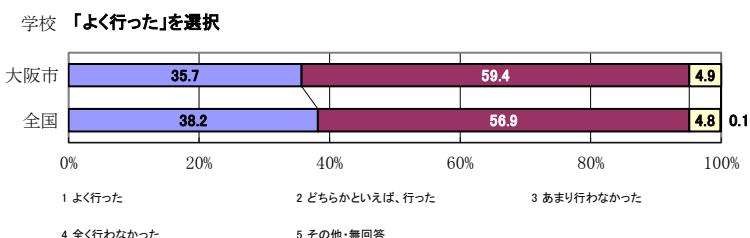
44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる指導を行いましたか



46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか



学校質問より

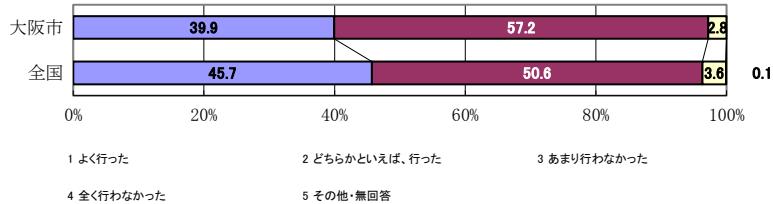
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

質問番号
質問事項

47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

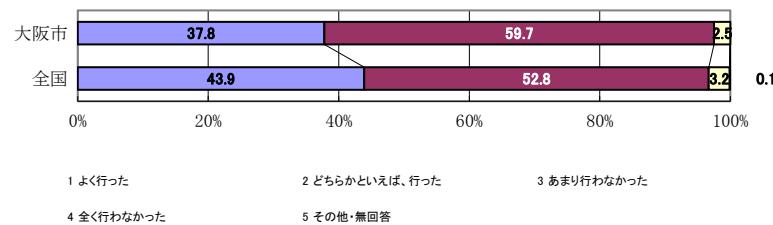
学校 「よく行った」を選択



51

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

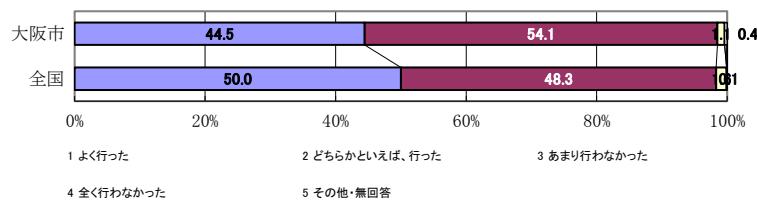
学校 「よく行った」を選択



52

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか

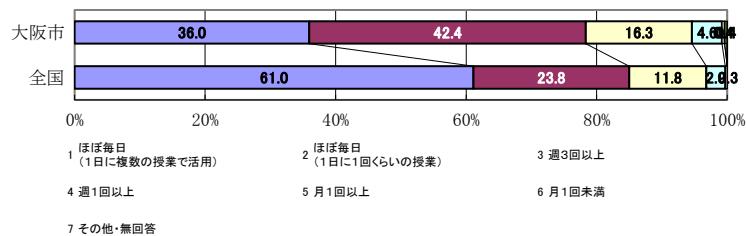
学校 「よく行った」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択



学校 「」を選択

